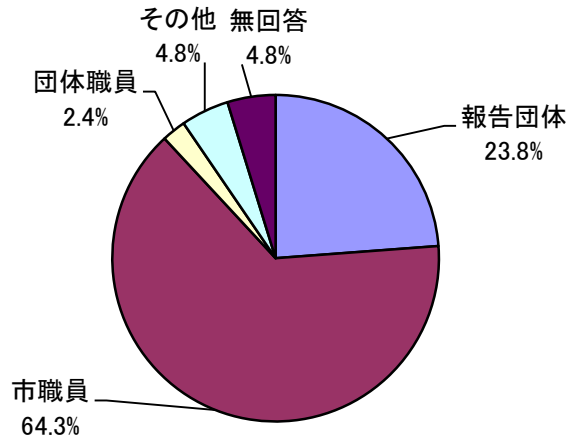


回収枚数 42 枚

所属

報告団体	・・・	10
市職員	・・・	27
団体職員	・・・	1
その他	・・・	2
無回答	・・・	2
合計		42



(1) 平成23年度「協働事業提案制度」成案化事業の事業報告

①協働事業：美加の台第10号緑地他植樹事業

提案団体：美加の台自治会連合会・美加の台第10号緑地他植樹実行委員会

市担当課：公園緑地課

- 地域で自分たちの町を作り直そうとする地元と、その支援をする行政とうまく協働できるように思いました。植樹という楽しいことだけでなく、今後は管理という大変な仕事も増えていくと思うので、行政と地域それぞれが協力しながら、お互い負荷をかけるのではなく、楽しくまちづくりができたらいいのではないかと思います。
- せっかくの機会なので、美加の台地域のアピールをもう少しされたら良かった。これから除草作業などで大変だと思います。是非地域のみなさんで力を合わせて、自然豊かな自慢できる美加の台地域を作り上げていって下さい。
- 自治会の熱意が伝わる報告でした。美加の台は若い世代も多いと思うので、自治会を中心にもっと地元の若者に呼びかけてみてはどうか。
 - 良いことだと思いますので、できるだけ長くこの事業が続けられたらと思います。(そこがもっとも難しい事なのかな)
 - 植樹事業が最終到着時点でなく、樹木が成長していく間のメンテなど継続して活動を行うためには、若い力の育成が重要と考えます。
 - 緑の街にふさわしい事業であると思う。出来れば子供たちもまじえて子供たちから大人まで参加して実施してはどうか。
 - 植樹した場所の維持管理等今後の課題も多いと思う。世代をまたいでの活動が続けばと思います。
 - 地域住民の願いと力が結集した事業として、是非共立派な緑化を目指し、花が咲く市を祈っています。
 - 今でも桜のきれいな団地ですが、これを美加の台だけでなく、他の地域の方々も参加し楽しめるイベントなどがあれば、いいなと思いました。
 - 美加の台地区外の住民に活動内容を発信し、地区外の住民の参加も考えられないか。
 - 市管理地の活用を通じて、相互の効用増加の取組みであり、有意義である。いろいろ継続には困難あり。フルルモックル広場への寄附など。
 - 斜面の作業の大変さがよくわかりました。
 - 我が市を行政と共に市民が守っていくという課題の中で、環境保全という大切なテーマで取り組まれたことに伴い、より市民が我が町を愛するという気持ちを持てるものだと考え、その意味でよい企画だと思いました。
 - 地道なというか、時間のかかることに取り組む姿勢に頭が下がります。地域交流の活性化にもつながりますし、河内長野を緑で埋め尽くしてほしいです。

- ・ 他の自治会のモデルにもなると思います。
- ・ これから5年～10年と維持していく事の協力の大変さを感じました。
- ・ 育苗の長期的なスパンでの活動を続けられるのは、ご苦労が多いと思います。
- ・ 協働事業について、必ず市と市民の協働でなくてもよいのではなか？事例のように市民団体5団体による協働で、市はそれをコーディネートするというケースでも良いのではないかと思う。
- ・ 将来的な見通しをもって、また効果的に各方面とつながりをもって協議会をつくれ、適正な時期に講座やシンポジウムなどを行われている所に感服し、他地域のモデルになれるのではと思いました。
- ・ 今後の継続が楽しみです。
- ・ 大変な作業ですが、今後も継続して事業を実施して頂きたい。
- ・ 自治会活動との違いはどこ。
- ・ 前回も同じ団体であったので、他の団体の参加を希望する。
- ・ 長期にわたる事業となるので、計画をしっかりたてて、がんばってほしいと思います。
- ・ 研修会を重ねての努力に頭が下がる。
- ・ 現在は老体にむち打ち頑張っていますが、若い世代につないでいけるように、世代間交流が実現することを願っています(日常会話にも気配りしています)
- ・ 市は長期的観点から、もっと労力／賃金を投入して、私有地の公園の維持・管理すべきであるが、出来ないのであれば、代わって住民が尽力すべきである。しかし住民の老齢化も考えてほしい。住民依存にも限度がある。もっともっと労力と賃金を投入してほしい。
- ・ 記念植樹の方法を検討必要・若い人達のとり込み

(2) 平成24年度「市民公益活動支援補助金」交付事業の事業報告

①交付事業：親子で体験活動をとおして、家族・地域のふれあい支援

交付団体：はぐくらぶ

- ・ 久先生がおっしゃっていた河内長野に中でもいろいろ知恵知識のある方、団体がいらっしゃるの、つなげていればというところに共感しました。はぐくらぶの活動に河内長野の活性化につながる要素があり、活動がより身近なものになると思います。
- ・ 子育て世代の現状を十分把握され、目的が明確で、分かりやすかったです。少子化に向けて期待できる活動内容でした。
- ・ まず、はぐくらぶの設立理由に感心しました。今後は、参加人数を増やして、もっと大きな団体になってほしいと思います。
- ・ 子供会に入会する子供も少なくなっている中、こういった機会があるのは非常に良い事だと思います。
- ・ 親子で体験する物づくりが人気するように思うので、それらを中心に事業を進めていけばと思います。
- ・ 学校では体験できない貴重な体験学習を行っていると思う。今後も学校で体験できない新しいイベントを実施して子供たちの成長に寄与してほしいと思います。素晴らしい事業です。
- ・ わざわざ補助金を使ってこういう活動を行わなければならないという「今の状況」に不思議な感じがした。まだまだ一部分の人しか参加していないが、今後多くの人に参加するような工夫が必要。
- ・ 活動の場所がキックスである点等は地域という視点では河内長野市全体の事業としての位置づけが不明瞭(区分)と思った。PR活動を強化し、多くの方が参加するようになれば、単なる趣味の世界に補助金を支出した形になるのでは。
- ・ 親子のつながりが薄れてきたように思いますので、親子が一緒になって参加できるこのような取組みが増えれば良いと思います。
- ・ 春・夏・冬休み期間を利用し、参加者増加に取り組むべきでは。キックスだけでなく、各公民館等を利用し参加しやすいように。

- 安全に気をつけて。
- 親子クッキングの様子が見られ、楽しい雰囲気が伝わってきました。
- 地域コミュニティが少しずつ根付いていると考えられる企画と考えられます。
- 親子クッキングはいいですね。いっぱいやって欲しいです。
- もっとネットワーク、すそ野を広げてほしいと思う。「あいつく」とか使えないのか？
- 5つもの具体的な活動をされて素晴らしい。
- 活動に取り組む姿勢に私共と似ていると感じ、親近感をもって聞かせて頂きました。活動に暖かさを感じました。
- はぐらぶの人材やノウハウ活用として、あいつくでの事業委託等が可能であるのではないか。
- 少しずつ活動の広がりを感じます。今後もがんばってほしいと思います。
- 参加者が少なく、同じメンバーでの活動では？
- 市民の中から講師をさがし、色々他の教室を開催すればいいと思います。有料でもほしがられると思う。
- 参加人数が少ないと思いますが、広報が不足しているのでは？
- 子育ての苦労の中で食生活をどう身につけさせる努力度に期待。
- 趣味の団体の域を出ない。補助金は出すべきでない
- 自治会活動に補助金はおかしい。地域コミュニケーションに税金をかける必要なし

②交付事業：夢いっぱい みちの音楽朗読

交付団体：朗読サークルみち

- 260名の参加はすごいと思います。どんどんスケールもUPし、認知度も増してきているように思います。今後の活躍を期待しています。
- 発展的な活動をされ、大変参考になりました。多くの人材を集めるのも、認知度とつながりが大切。こらからも楽しみにしています。
- 手作り、役作りから準備までやっていることに感心しました。手作りなので、1回1回やっていくことで、段取りや予算もわかっていくことでしょう。
- かなりの盛況ぶりで、これからも頑張ってもらいたいと思います。
- 報告ではよくわからなかったのですが、「ミュージカル」ですか？
- 子供の成長には、視覚よりも聴覚やそれに影響を受ける感性の方が大切である。そういった意味でこういった事業をもっと進めてほしい。テレビっ子には、特に参加してもらいたい事業である。
- 報告について、活動の目的がわからなかった。これが公益活動なのか、理解しにくいものであった。
- 独自の芸術の世界を紹介されていける。今後の期待を含め拍手を送りたい。
- 参加人数も多く、内容も良いので、料金設定を見直したら？
- 資金余裕あれば自立して下さい。
- ステージの盛り上がりがあり、成功裡に終わったのは良かったです。
- 世代を越えて一緒に参加できる、そしてその世代世代の持つ課題に取り組めるという、とても生き生きとした楽しいものだとパワーポイントを通じて感じました。
- 様々な人たちの協力によって、プロジェクトが実現し、成功していることが、素晴らしいと思いました。
- 補助金を使って自立の道をつけた、いいモデルだと思います。

- ・ 子供たちに喜んでもらえる(甘やかすのではなく)ことが何より素晴らしく、先に生きる者として何よりの喜びであると思います。
- ・ 色々な事に思わぬ出費がある事を知りました。事業以外でも活用できる補助金があれば他の団体にも知らせて頂きたいです。朗読は本当に素晴らしいです。
- ・ 次の講演を心待ちにされるという声が多かったこと。1ステージにしぼっての活動が興味深い。
- ・ 華やかさがあっていいですね。身近で演劇や朗読を見て感動できるって市民にとって嬉しい限りだと思います。
- ・ もっと他団体とのコラボを拡大し、広く公益に進んで欲しい。
- ・ いろいろなところとのつながりができて活動が広がっていることを感じます。
- ・ ラブリーホールなどで行うのもいいが、出前公演も考えては？
- ・ 260人の動員は素晴らしい。
- ・ これも友好団体の域を出ない。税を出してまで、市は応援すべきでない。
- ・ 大人の学芸会に補助金はおかしい。もっと他に補助金を

③交付事業：「生きるって素晴らしい！！」を実感できる講座

交付団体：綴り方と話し方のクラブ“アイ・マイ・ミー”

- ・ 高齢者にも子どもにも体験してもらえたらいいなと思って聞いていました。活動も自分から働きかけ老人クラブや学校など、どんどん活動の場を広げればいいなと思いました。
- ・ ボランティア団体同士のコラボの実現や増加を望みます。
- ・ 講座名称から非常に興味をもてるもののように思います。事業報告内容も非常に良いと思いました。
- ・ 参加人数で、主催者46人で、一般36人となっていますが、一般の参加者の増加ができるように努力してほしい。
- ・ 高齢者の色々な経験・体験を若い世代に伝えていくのは、ある意味最も大切なことではと思う。できれば、全く違った人生を歩んでこられた方の様々な対研修を編成して、子供たちに紹介してほしい。
- ・ 事業目的、活動内容ともによく理解できた。
- ・ 高齢者の一人として、非常に興味深いテーマ・イベントである活動に今後自分にも参加したいと思った。(自分史)まだまだPR不足(PR文面の内容)かと思う(広報等)報告者の語りはプロで上手い。
- ・ 事業内容から参加者集めに苦心されていると思います。広報活動を活発にし、参加者の増員を考える。
- ・ PC購入後は、一定期間中は事業継続し、他への転用はしないで。
- ・ チラシの内容が少し分かりにくい面がある。
- ・ 自分を表現する手段を参加者が持たれたと思います。これからも活動を進めていただくように期待します。
- ・ 世代をまたいで、交流できているのが、良いと思います。
- ・ ASUHEとのコラボは良かった。高齢社会の本市らしい、いいことだと思いました。
- ・ せっかく素晴らしい内容の取組みをされているのに、普通に暮らしていてもなかなか一般では知りにくいので、もっと効果的に知れ渡るような宣伝をされたらと思います。
- ・ 高齢者～若者まで対象とされていると驚きました。機会があれば講座を受けさせて頂きたいです。
- ・ 書く、話すという講座は少ないと思うので期待できる。
- ・ 発表者の方“さずが綴り方と話し方のクラブ”の方でした。
- ・ 参加者の満足度から、いい活動をされていると思うのですが、活動にプレがあるように思えます(参加者の活動から自分史づくりにシフトする等)。参加者へ伝えたい思いや形が達成するならば、その方策や活動は手さぐりで変わっていてもいいと思うのですが、その辺りが見えにくいと思いました。
- ・ 目的をもっとわかりやすくして下さい。

- ・説明がわりやすかった。
- ・趣味の域が公益活動と言えるのか。
- ・話し方を具体的にどうしているのか、わかりにくかった。
- ・イベントに積極的に参加されるのは立派。
- ・交付金(税を投入)を出してまで市は応援すべきでない。公民館活動の域を出てない。補助金は出すべきでない。
- ・綴り方と話し方？何をしているのかよく伝わらない

④交付事業：木戸本郷ふれあい広場の整備

交付団体：木戸本郷自治会

- ・公園と同じで、人が入らないとすぐに草が生え、除草が大変になります。それらも地域で乗り越え、地域で作った、広場となり活動も広がっているようで、とてもステキな広場だと思いました。広場の植樹の話がありましたが、緑(樹木や花)を増やすなら、大阪府の「緑化樹」市の「ふれあい花壇」などの制度がありますので、ご利用下さい。これからも活動を応援していきたいです。
- ・地域のみなさんのご努力でふれあい拠点が完成し、今後の地域活動にも活かせるすばらしい事業でした。また、自らが汗を流して作り上げたこの場所は地域の宝物で、思い入れを持って様々なイベントに力を合わせて活動していけると思います。
- ・最近、自治会や町会に加入する人も減ってきていると聞きます。その中で自治会中心での活動には驚かされます。
- ・苦勞して整地した広場なので、これからも色々なイベントも考えてもらいたいと思いました。
- ・地域災害時の拠点や他に公共的事業にも対応できる用途を準備されたらと思います。
- ・大人から子供たちまで集って、遊ぶことができる広場というのは、今の時代不足しているため、必要なものだと思います。防災の意味でもある程度の広さの空き地が必要なのではないでしょうか。
- ・整備した土地の維持が大変なのではないか。有効的に利用すれば、地域にとって楽しい広場になると思う。
- ・協働事業ともいうべき内容を地域で実施されたのは見事。この場所を活用しての今後とも更なる活動を期待したい。
- ・近年家の中で遊ぶ子ども達が増えている中で、このような遊び場を設置できたことはいいことだと思いました。今後子ども達が多く集まり、遊んでもらい続けられるような工夫もされれば(されると思いますが)良いと思いました。
- ・素晴らしい活動と思います。今後も地域住民のふれあいの場として様々な企画を実行して下さい。
- ・安全配慮で。
- ・交流の場ができて良かったと思います。
- ・荒地を放っておくのではなく、市民の交流の場として様々な活動に使用できるよう、皆が手を携えて協働できたことは、この事業目的にあっているものと感じました。
- ・苦勞して場所を作ったことで、次の世代も巻き込んで活用できていることは素晴らしいと思いました。
- ・他の自治会のモデルになればと思います。
- ・たった29万円の広場で地域の人々の交流を生み出した立派な公園でなくても工夫で親しみのある空間に変わる素晴らしい事例である。
- ・地域の方にたくさん利用される公園になれば、良いと思います。きれいな公園の維持は大変なことがわかりました。地域住民の方の関わりが大きい事業だと思いました。
- ・休憩のための設備を充実していただきたい。

- まだベンチ・日よけ・トイレ等の整備も考えておられるとの事なので、今後どこまで事業補助を要望されているのか？それに対して市はいつまで補助金支出が可能なのか？疑問が残った。
- 自治会が世代間を超え、地域を団結させたいと積極的に補助金事業に申請される姿勢が素晴らしいと思いました。
- 広場の継続に期待します。
- 色々な面で活用でき大変素晴らしい活動であると思いました。
- 市の土地整備への補助金が妥当なのか、説明がわかりにくかった。
- 市の用地で、広場として使用。その広場整備工事が大部分。これってNPO支出にあたるのかどうかよくわからない。
- 自治会活動との判別が難しいのでは。
- 市の土地なら協働事業にはならなかったのか？美加の台の緑地事業との差がちょっとわかりにくい。
- 場所がわからない。
- 楽しいふれあい広場だと感じました。自治会活動としてもできるのでは？
- 維持管理を継続していくことが大切ですが、次代にも引き継いでいくことをルール化していくことが必要と思います。
- 市の保有地での自治会活動と何故補助金を出さねばならないのか？交付金は不要です。
- 市の土地整備に補助金はおかしい。今後の継続策が重要

◎交付事業：マニラと河内長野をつなぐ！国際連帯・地域の輪 アジアの片隅からポールガランと共に子どもの願いPEACEコンサート

交付団体：フィリピンAKAYプロジェクトをともに創る南河内の会

- 公益活動とか社会貢献活動とかという姿があまり見えませんでした。
- 目的が分かりにくかった。
- 外国との交流することは素晴らしいので、あらためてプロジェクトの意味の大きさに驚きました。
- 海外との交流を行う中で、ボランティア等たくさんの人々と共に行うコンサートなので、これからもがんばって長く続けてもらえたら良いと思いました。
- 『ラブリーホールでコンサートをするために補助金を提供した形になってしまった』と思われる。審査員の方が言われたように、河内長野に還元されるようになってほしい。
- 我々日本人は、アメリカやヨーロッパ文化に目を向けがちで、アジアの文化にはあまり関心がないように思います。しかし今日本はアジアの一員であり、もっとアジア文化を知る必要がある。今回のフィリピンだけでなく、その他のアジア諸国との連携を深めていってほしいと思います。
- 事業の目的などが、全くわからなかった。結果の報告だけという感じ。
- 異文化国際交流の一つで意味はあると思うが、その目的が市民に理解される形でのPRが必要。補助金の対象として市民に如何に結び付くかを明確に。
- 可能かどうかわかりませんが、他の事業、他市事業などの来日の機会と合わせることで、経費が削減できないかと思いました。
- 本市内での活動を心掛けてください。
- 音楽入りがあって、様子がよく伝わってきました。

- 地域から同じアジアとの連帯を図る大変な作業でもあるし、色々と困難もあると思うが、よくこぎつけられたと思います。
- コンサートができるには、いいなと思います。河内長野がいろいろな形で国際交流ができるのは、いいことだと思います。
- なぜフィリピンなのか、なぜ河内長野なのか。
- 個々に活動されておる芸術をつなげるよい機会を提供されたプロジェクトであられた。
- イベントに色々な方の協力が必要な事がわかりました。きっかけが大事な事がわかりました。お金、補助金の使い方の意味がある事をはっきりアピールする事が必要。
- アジアにはまだまだ知らない国があり、その一端がわかった。
- 企画～本番まで大変だったかと思いますが、きっと楽しみながら進められたことでしょう。終わって究極の心地よい疲れを感じた事と思います。
- 市民公益活動の“公益”部分に少し疑問を感じた。
- 河内長野の子供たちに多く参加してもらえるといいと思います。
- 活動内容があまり良く理解出来なかった。
- 今後の展開説明がわかりにくい。
- 国際交流活動の一環とすれば理解出来るが、協働とするなら、個人的な目的達成の一助としている感が強い。
- どの点が市民のため??
- 市内に住む外国人が増える中がんばって下さい。
- 久会長からの指摘もありましたが、市民との関係を強く意識すべき。
- 特定の人たちの集まりであり、その人達が良い目をしているとしか思えない。税投入してまでの活動といえない。不要。
- 河内長野市民の税金を出演者の旅費に使用することには納得いかない。市民に反映されていない。

⑥交付事業：親族後見人に対する支援活動プロジェクト

交付団体：到底非営利活動法人成年後見支援・普及センター

- 今後は、河内長野市(介護高齢課)と調整などをもって、行政と連携をとりながらすすめると、よりこの補助金の効果や役割が増し、活動内容も発展すると思います。
- 高齢化で認知症の方が増える中、分かりにくい制度を市民の目線で実施されている講座、相談事業は大変興味深いものがありました。参加者の声を聞く努力もされており、今後にどんどん生かしていただければと思います。
- この団体ははじめて知りました。弱者目線での活動すばらしいです。
- 地域(約8割が市内の方との事)(河内長野市)に対して、弱者を支援する講座を開催されているので、これからも頑張ってください。
- 今後、河内長野市でも後見人が必要となる人が増加すると思われるので、今後の活動に期待したい。
- 後見人の法的な意味を知りつつ活動を行う必要がある。この制度は必要不可欠なのであるが、法的な検討が必要であり、弁護士他法律のブロによる指導や説明が不可欠である。
- 後見人については、今後益々必要となってくる制度だと思う。多くの人に知ってもらおうよう、活動を続けてほしいです。
- あまり一般的でないテーマに取り組んでおられる点は評価できるが、河内長野市としての活動の関わりを大きく出来るように努力していただきたい。

- ・ 非常に難しい課題になると思いますが、あえて申し上げるなら、身寄りのない支援が必要な方は、講座や相談会には参加出来ないと思いますので、なんとかそのような方々への支援は出来ないものかと思いました。
- ・ 今後参加者、個別相談者の増加が見込まれると思います。頑張ってください。
- ・ 活動の自立を目指して下さい。
- ・ 市内におけるニーズも多く、必要なプロジェクトだと感じました。
- ・ 仕事丁寧、大いに期待します。
- ・ 制度を理解する必要性が今後増大していく中で先取りの取組みを行われている。ただ制度については、国なりがもっと啓発を図るべきところと思われる。
- ・ 最近後見人についてよく聞きますが、詳しくはわかりませんでした。今後もっと必要になると感じました。広く知識が広がっていけば、良いと思います。年間計画は早く立てる。
- ・ 個別相談をされているのが素晴らしい。
- ・ 市が直接実施する講座では、少額でも参加費の徴収に対するアレルギーが生じるが、このような形での開催であれば、参加者もなじみやすいと思われ、結果市の経費削減につながると思われる。
- ・ 親族後見人は悩みが多いと思いますので、継続的な活動を望みます。
- ・ これからの展開に期待できる。河内長野にますます貢献してほしい。
- ・ 府からの補助金があるのでは。重複する。
- ・ 高齢者の多い本市には適した講座だと思う。
- ・ 役所の仕事では？
- ・ 市内各地域に普及活動をしてはと思います。
- ・ 今後もっと必要になってくる知識だと思います。
- ・ 不要である
- ・ 後見人制度は必要。もっと活動を広めるべき。

⑦交付事業：エンディングノートの出版

交付団体：NPO法人ASUHE

- ・ エンディングノート…今よく話題になっており、高齢化社会に地域や団体に声かけして普及することは、高齢者にとっても外に出たり、自分や家族を見つめ直すきっかけとなり、閉じこもりや認知予防にもなるのかなと思いました。この事業の成果(作って良かったどうかとか)を聞きたいです。
- ・ 勉強不足でエンディングノートのことがよく分かりませんでした。
- ・ エンディングノートの言葉も初耳でした。たいへん面白い団体だと思いました。
- ・ エンディングノートの普及を今後していくと言う事なので、頑張ってもらいたいと思いました。
- ・ 「終活」は、今後に普及していくかと思われる。活発に活動してほしい。
- ・ これは、まさに現代の日本の問題点を映し出している。この説明を聞いて私も参加したいと考えている。できれば、市役所においても事業を支持してもっと説明会を開催してほしい。
- ・ 先日亡くなった従兄弟がつけていた事で存在を知った。自分もこの目的を理解して取り組みたい。
- ・ 市民の方への無償というのはすばらしいと思いますが、市外の方へはある程度収益を上げていただいて、今日の補助をきっかけに次年度以降、補助がなくても回る方法、または本補助金の財源？寄附をしていただき、他の事業への助成する立場になるところまでいけばと思いました。(勝手なことを書いてますが)
- ・ 益々高齢化が進むことから活動を続けて下さい。
- ・ スポンサー(安定的な)を探し、販売事業などにより、自立して下さい。

- ・ 今後エンディングノートの必要性を感じる人が増えてくると思われます。
- ・ エンディングノートは今あちこちで作っておられますが、これだけ立派なものを作るには、それなりの費用がかかると考えられる。寄附をいただかれているのは今後の活動の参考になりました。
- ・ “超高齢化”ということを改めて考えさせられました。
- ・ 内容・中身をどう作られたのか。確かに十分自立されていると思います。
- ・ 目をそむけてしまう課題に取り組まれている、本当に高齢化を真摯にとれられている様子が感じられた。
- ・ 自分らしく生きる事を考えさせられた。元気なうちに色々な準備をした方が良いと思った。
- ・ 無料か有料かということが難しいですね。
- ・ 分かりやすいご報告でした。
- ・ 今回作成されたエンディングノートのデータを今後広く配布できないのか？
- ・ 超高齢化の折、必要な事だと思います。ぜひ、今後も配付し、勉強会を継続して行って下さい。
- ・ 事業収入82000円なので、補助金なくてもいけるのでは？
- ・ 持続性と今後の補助金の関係。補助金不要？別の内容に拡大？
- ・ 販売収入で賄えるのでは。
- ・ 同上の理由で本市に適している。他の市内の地域でも広げていけばよいと思う。
- ・ 機会があれば、是非お話を聞いてみたいと思います。どうすれば地域へ来てもらえるのでしょうか
- ・ 本屋に行けばもっと良いエンディングノートがある。不要である。
- ・ プロ。おもしろい。補助金をもっと必要か。返金の必要なし。

(3) 全体を通じてのご意見・ご感想など

- 補助金制度を利用している団体の広がりはどうなんでしょうか。毎年申請をしている団体があり、活動内容も活発になったり、公益性が広がったりと良くなったと思いますが、かたよった団体だけに支援しているようになっていないでしょうか。たくさん公益活動をされている団体はあると思うのですが、補助金を申請するのに、プレゼンしたりとか準備が大変で、補助をあきらめている団体はないでしょうか。補助申請の方法(交付決定時期を含め)が気になります。それにしても、どの団体さんも熱心に活動され、頭が下がる思いです。私たちもその活躍に負けることなく、一緒に頑張ってまちづくりをしないといけないと思いました。協働、支援、共催、参画・・・等々、久先生の話のためになりました。ありがとうございました。
- 初めて各団体からの報告を聞きましたが、まずは、簡単でいいですので団体紹介、どんな団体で今回の補助事業を実施した目的(現状を含めて)説明入れていただければより分かりやすかったと思います。(資料で説明するなど)団体によっては、活動への強い思いと目的を明確に持って実施されており、行政だけではできない事業展開で、意欲的な活動に反対に励まされました。
- ・ 1年1年参加団体が増えています。根付いていったら良いと思う。
 - ・ 全体を通して、市が助成している団体の事業報告であったが、色々な基準を基にその団体を決定していると思いますが、今回の報告で色々な団体がある事、色々な団体と補助金を交付しているのかわかりました。
 - ・ 『市民公益活動』として、補助金を出すことに『？』を感じられる事業もあった。もう少し厳選しても良いのではと感じた。
 - ・ 実際のところ、この報告会にはあまり関心がなかったが、事業内容を聞いて関心を持たざる得ない事業も多くあった。
 - ・ 説明時間の関係もあると思いますが、件数的にも少しハードなスケジュールだと思う。
 - ・ 各種団体・組織(自治会・NPO・・・)の個別活動への支援と市に本来行うべき事業を地域と協働で行う「協働事業」との垣根が難しい点があり、今回その点は少し理解出来た(審査員先生の質疑等も含め)
 - ・ それぞれの団体の方々が幅広く、いろいろな取組みをされており、熱意を感じました。

- J. COMチャンネルに河内ホット情報という番組がある。取材を依頼し、放送してもらったらどうか(河内長野市の情報が多く放送されている)
- ご苦労様でした。
- 職員研修を兼ねての事業報告会は意義がありよかったです。
- 自主独立して取り組むのはどうすれば良いを考えさせられた内容でした。
- 河内長野市内の市民活動は幅広く知ることができました。ありがとうございました。

単なるバラまきでなく、自立支援に結びつけない制度だと思えます。私は某市にて「投票型」の支援金を得てやっているのですが、「人気投票」的やり方に疑問を持っていたので、今日はいいい勉強になりました。どちらも久先生がかかわられています。

- 試行錯誤が少しずつものごとを前に進めることが感じられました。
- 本当にたくさんの事業があることに驚きました。これからもどんな活動をされるのか見ていきたいです。
- 他の団体とのコラボレーションを考えたい。

- ボランティア活動に関わったお陰で、プレゼン(申請時)や報告会(本日)を生まれて初めて(笑)経験できましたことを喜んでおります。これからも学ばせて頂くことがたくさんあるかと期待し、私共の活動の充実に真剣に取り組んで参ります。ありがとうございます。

- 多種に渡る活動の補助金の使途が見えて面白かったです。先生のおっしゃられていた様に、補助金に依存せず、自立して補助金がなくてもまわしていけるように、活動の中で考えながら動いていただければ、他のエントリー希望されている団体への門戸が広がるのかと思いました。

- みなさん補助金を有効活用していると感じました。
- 今後、団体の活動がどのように展開していくのか？よくわからない。
- 自己満足の感が有。
- 市内では種々の事業がされていることが分かった。
- 初めての参加であり話を聞くだけであったが、今後勉強していきたい。
- 各団体のすべての事業が協働事業(河内長野市民の公益活動)につながっているのか？

- 初めに久先生がおっしゃられていたが、協働事業、市民公益活動という観点で、市から補助支援している。公金を支出しているということ、行政側・団体側が明確に理解しているのか疑問を持った。特に団体の人には「自分の趣味」のために公金を支出しているのではないということ強く認識すべき。行政側も住民監査にたえられるよう、厳にチェック必要。

- 美加の台は資料があり分かりやすいが、他のものは資料が少なく内容がよくわからないものがある。個人や団体の楽しみのためだけの活動もあるような感じをうけた。

- 市民全体のことを考えない特定の人利用する団体が多過ぎる。税の投入は慎重にすべきである。もっと審査員、市役所各位は研究審議して税の有効活用してほしい。

- 何でも協働は一考必要。河内長野市は貧乏、市のことをもっと交付事業者は考えるべき。交付事業のマスターベーションで終わっている。